

医療連携 だより

第26号

平成24年 冬号



発行：榛名荘病院 医療連携室

〒370・3347 群馬県高崎市中室田町5989
<http://www.harunaso.or.jp>

榛名荘病院の基本理念

1. 生命を尊重し、安全で良質な医療・介護を提供します。
2. 患者・利用者様の意志と権利を尊重します。
3. 医療・介護技術向上のため、研鑽に努めます。
4. 地域医療、福祉のために寄与します。



CONTENTS

- 群馬脊椎脊髄疾患研究会／就任・退任あいさつ 2
- 退任あいさつ／秋雑感 3
- 総合ケアセンター感謝祭／リハ部受賞のお知らせ 4
- 永年勤続者のご紹介 5
- 前橋赤城山ヒルクライム／医食同源 6
- トピックス／医療連携室よりお知らせ 7
- 外来診療担当表 8

「第35回 群馬脊椎脊髄疾患研究会」 開催について

群馬脊椎脊髄病センター
副センター長 笛木敬介

去る平成24年9月15日マーキュリーホテルにて第35回群馬脊椎脊髄疾患研究会が開催されました。（事務局：榛名荘病院群馬脊椎脊髄病センター内）

第1部の症例検討会では県内で診療を行っている多数の脊椎脊髄外科医が症例を持ちより活発な討論を行いました。

第2部の特別講演では国内外で広く活躍されている千葉大学大学院整形外科准教授 山崎正志先生に講師としてお越し頂き、「頸椎胸椎外科の最近の進歩—手術の精度・安全性向上のための工夫と脊髄再生の臨床試験—」のテーマでお話しして頂きました。

山崎先生は長年千葉大学医学部附属病院整形外科にて頸椎脊髄外科チームのリーダーとして活動してこられ、その中で経験された多くの難症例に対する手術戦略上の工夫や治療を通して得た教訓などについて伺うことが出来ました。参加者が今後の診療を行うにあたって大変有意義な情報であったと思います。また先生は臨床だけでなく基礎研究の分野でも活躍されており厚生労働省関連の研究班への参加を中心に再生医学の分野での素晴らしい実績をお持ちで、その業績についても先生ご自身から成功に至るまでのプロセス、内輪話などお話し頂き、素晴らしい研究成果が一朝一夕には生まれないことを知ることが出来ました。臨床医として高いスキルをお持ちである上に、優れた研究者でもある山崎先生はまさに文武両道の脊椎脊髄外科医という事を実感しました。

講演後、短い時間でしたが懇親会の席上で先生と参加者とでお話をさせて頂く機会も頂き、その気さくなお人柄に触れることも出来ました。盛会の内に研究会は終了しました。

山崎先生におかれましては、本講演会后、間もなく筑波大学整形外科学講座の教授就任が決まりました。本当におめでとうございます。

施設長就任のごあいさつ （介護老人保健施設 あけぼの苑高崎）



平成24年10月1日付で、あけぼの苑高崎の施設長に着任しました片田桐子と申します。専門外の領域にとまどいながら、利用者様をはじめ、周りのスタッフと協力し、日々の診療を行っております。

朝晩の冷え込みが厳しい季節となりました。風邪、インフルエンザ、ノロウイルスなど、感染症予防対策の強化に努めたいと思っています。

施設長として責任重大ですが、医療連携を密にし、地域に貢献できればと思っています。

未熟な点が多々あると思いますが、よろしくお願い申し上げます。

施設長 片田 桐子

退任医師のご挨拶

いば ひであき
射場 英明（群馬脊椎脊髄病センター）

今年の4月から9月までの半年間、大変お世話になりました。元々、内視鏡下脊椎手術をメインにしていた私にとって、榛名荘病院での脊椎手術は驚きの連続で、大変勉強になりました。榛名荘病院で学んだ事は、今後、私が進む低侵襲脊椎手術の分野においても大変参考になるものであったと思います。

私生活の方では、真鍋先生、リハビリのスタッフの方々に大変お世話になり、ありがとうございました。家族と離れ単身赴任の半年間、男一匹でやって参りましたが、無事に妻と子供の元に帰れることは、この上ない喜びです。

10月からは、川崎医科大学付属病院で整形外科医として勤務いたします。もし機会がありましたら岡山に、瀬戸内海のうまい物でも食べにお越しください。



日本拳法が趣味のとてもお元氣な射場先生は、誰にでも親しみやすいお人柄であつたので、皆寂しがっております。先生のご活躍を願っております。

お詫びと訂正・・・第25号〈歯科特集〉の、武者 篤先生のご紹介において、歯学博士とありますが、正しくは「医学博士」です。ここに訂正しお詫び申し上げます。

退任医師のご挨拶

小林先生お疲れ様でした

小林先生は41年という長きに渡り榛名荘病院にご貢献下さいました。先生のお姿を拝見できなくなる事は大変残念ではございますが、どうぞお元気で過ごして下さい。本当にありがとうございました。お疲れ様でした。



昭和46年6月1日より榛名荘にお世話になり、早、40年余りが過ぎました。思い起こせば、赴任した当時、榛名荘は、まだ古い木造の建物で、時間も今よりゆったりと流れていたように思います。敷地内に准看護婦学校があり、講師を務めたことや、当直勤務の夜、「ドスーン」という浅間山の噴火に驚いたこと、また、大雪や嵐の中、夜中に呼び出されたことなど今思い起こせば懐かしい「思い出」です。

平成7年2月～平成15年6月までと、平成17年5月～12月までの2度に渡り、あけぼの苑の施設長をお世話になりました。そして、18年7月より、現在の受け持ち病棟である、南病棟3階に勤務して参りました。この南病棟3階は、東日本大震災による被害が最も大きかった病棟であり、患者様は他病棟への避難を余儀なくされました。2人、3人と分散して避難された患者様への対応に苦慮いたしましたが、何より患者様、そしてご家族様に多大なご迷惑をおかけしました。無事乗り越えることが出来たのも、そういった方々のご理解・ご協力があったからに他なりません。40年分の思い出は、とても言い尽くせません。

退職後はしばらくしましたら実家に戻り、少しのんびりいたします。皆さま、大変にお世話になりました。

医師 小林 義夫（榛名荘病院）



秋雑感

財団法人 榛名荘
専務理事 齋藤 直躬

1968年晩秋、首都東京のたくさんの大学はロックアウトされ、学生と機動隊の激しい衝突が繰り返され、世の中は騒然としていました。将来に大きな不安を抱きながら、社会政策学の研究会に所属する私は、「労働力流失と共同体崩壊」に関する卒論執筆に取り組んでいました。学生運動の影響もあって、研究会の学友の中には「社会保障の充実や社会的弱者救済を階級闘争」と位置付ける学生もあり、口角泡を飛ばして激しい議論を闘わせた光景が今は懐かしい思い出となっています。

1970年代に入ると激しかった学生運動は収まり、日本経済は右肩上がりの一途を走り続け、社会的弱者の問題が国民・国家的課題として取り上げられることはほとんどありませんでした。しかし、1998年秋には、それまでの経済的繁栄を一転させる思いもよらぬ時代の始まりに直面したのです。政府系金融機関の長銀や日債銀、そして大手の証券会社の経営破綻に始まるいわゆる「失われた十年」が始まり、さらに2008年秋のリーマンショックは日本経済の転落に追い打ちをかけ今日に至っています。

日本経済の転落と人口構成に象徴される社会構造の変化は、この榛名山麓の町・村の街なみも容赦なく変えて行きます。街なみは常に変化しなくてはなりませんが、活気を失った街・進化を止めた街・限界集落化した村落は、廃墟か博物館への運命に直面しています。そしてそれらの街はそこに生活する人々そのものを現す産物であります。

こうした現実を目の当たりにし、財団法人榛名荘の創業の精神に言う、「社会の欠陥より生ずる不幸な人々」のために、高齢者をはじめとする社会的弱者の救済をこの榛名山麓でどのように実現してゆくか、財団に働く私たちは再度認識すべきとずっと考えて来ました。

数年前に設立された在宅機能を総合的に提供する総合ケアセンター榛名荘、介護保険対象外事業と地域福祉事業を経営の根幹の一つとする株式会社榛名厚生会は、「社会的弱者の自立と積極的な社会参加」・「街なかの活性化や地域力の発揮」に向け、今日まで積極的な運営に取り組んで来ました。

今、街なかに設置された施設群ではその周辺に生きる人々の新たな関係性が生まれ始めています。地域に暮らす人々・高齢者や社会的弱者がこの街なかの施設に訪れ集い、その結果新たな人間関係が創られ、新たな賑わいに浴し「力」が産まれます。

総合ケアセンター榛名荘や榛名厚生会はこの「力」を「地域力」と考えますが、この秋は、この「力」が今まで以上に大きくなったことを実感しました。

2012年秋、株式会社榛名厚生会は高崎市の指定管理者として、高崎榛名福祉会館運営の委託を受け事業を開始しました。この事業は財団法人榛名荘の協力を得て、地域福祉の向上と健康づくり・障がい者の自立支援・児童の健全な育成と豊かな情操教育・自主事業の展開などです。この秋は、財団とその関連企業が運営する社会福祉事業も加わった組織として、新しい歴史の一ページを賑わす秋でもあります。

総合ケアセンター榛名荘

感謝祭

平成24年10月13日



去る、10月13日土曜日に、総合ケアセンターの恒例行事である、第6回感謝祭を開催いたしました。

10月という、穏やかな季節に開催できたこともあり、暑さの為に体調を崩す人もおらず、多くの地域の方々に参加していただくことができました。

今年は従来午後からであった開催時間を午前から開始したこともあり、予想を上回る人数の方々に参加していただきました。

県立榛名高校の生徒の皆さんによる演芸参加や模擬店参加など、若さ溢れるパワーで会場は大盛況となり、例年以上に心の熱い感謝祭になったことを大変嬉しく思います。

地域の皆さまへ日頃の感謝の気持ちを込めて、ささやかではありますが、売店の売上げ金や協賛金を使用し、50冊の読書本を榛名高校さんに寄贈させて頂く予定です。地域の将来を担う若人の成長の一助になればと思います。榛名高校さんとは平素から関係も深く、様々な交流を行っております。

最後に、様々な特技を披露し、祭りを盛り上げて下さった個人又は地域団体の方々、そして、出店をはじめ感謝祭の運営を一生懸命お手伝い下さった方々に、改めて敬意を表しますと共にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

事務長 菅原 優



リハビリテーション部より受賞の報告

榛名荘病院 理学療法士 樋口 大輔

第30回関東甲信越ブロック理学療法士学会（新潟、平成23年9月3～4日）において発表された348演題の中から私が発表しました演題「腰部脊柱管狭窄症患者の健康関連quality of lifeに影響を及ぼす因子」が学会長賞に選出され、第31回同学会（埼玉、平成24年9月15～16日）において表彰されましたことを報告致します。過分にも、このような栄に浴することができましたのは、同僚や上司、関係各位のご支援によるものであり、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

また、医療現場に在職しながら臨床研究を行う目的は、第一義に理学療法のために入院・通院されている患者様の利益として還元されることにあります。われわれリハビリテーション部は、患者様やご家族様がより豊かな生活を送ることができるように共に考え支えることを行動指針として日々職務に励んでおりますが、今後、私の臨床研究の成果が患者様のより豊かな生活の実現にわずかでも貢献できるとすれば幸甚に存じます。





財団法人榛名荘創立74周年記念式典

ここでは、去る平成24年11月8日(木)に行われた式典にて表彰された皆さんの紹介をさせていただきます。

永年勤続者代表(20年)から一言

榛名荘病院 南病棟2階 副師長 吉田 菊江



本日は財団法人榛名荘創立74周年誠にありがとうございます。

この良き日に私達53名が栄えある表彰をいただきますことを光栄に存じ、受賞者一同を代表いたしまして、一言感謝の言葉を申し上げます。理事長をはじめ、ご臨席の皆さまに深く感謝申し上げます。

顧みますと看護の仕事に憧れて、榛名荘病院に看護学生として入職し、青いユニフォームを着て夢中で勉強と仕事に励み、准看護婦の資格を取得することが出来ました。南病棟一階に配属になり、晴れて白衣を身にまとった時は大変嬉しく思い、仕事に励んだことを思い出します。

その後、進学コースに通い正看護師の資格を取得しました。主任として旧東病棟では、清水先生、笛木先生をはじめとする整形の先生方のもと、病棟での看護のあり方や学会の発表などに関わらせて頂き、大変貴重な経験もさせて頂くことが出来ました。

院長先生をはじめ、先生方、諸先輩方の温かいご指導のもと、現在は回復期二階病棟の副師長として、患者様の在宅社会復帰に向けての看護に精一杯関わらせていただいています。

今後も榛名荘が地域の皆様から信頼される病院であるため、微力ながら貢献して参りたいと思います。

今後とも、より一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが受賞者代表の謝辞に代えさせていただきます。

受賞者の紹介

20年勤続者	町田紀宇子	吉田 菊江	中村 好枝	清水 亨	須藤 恵子
15年勤続者	二上美恵子 柴田 規好	中澤 公恵 外処 尚之	織茂由香里 藤井さやか	梅山 陽子 岡田 松代	笹澤 秀行 萩原 順子
10年勤続者	柴山 永江 井野 正剛 水友 恵子	中島 淑子 松澤 英明 田内 徹	市川 洋一 小坂 朋子 上原 恵子	林 由正 松澤 幸 石田 素彦	小泉 美佳 水井 宣博 狩野 学
5年勤続者	樋口かよ子 千葉由香理 滑川美穂子 黒田 正人 野中 麻美	関 範子 田中 伸幸 大久保絵美 原田 愛 後閑千恵美	土屋 景子 羽鳥 敬一 大山紗代子 原田 一樹 齋藤 明美	小平 照子 青木 和己 角谷 佳美 瀬戸由里子	机 早奈江 黒田 真澄 菊地 隆志 倉地 浩

(都合上、敬称は略させていただきました)



第2回

まえばし赤城山 ヒルクライム大会

平成24年9月30日(日)

距離20.8km、標高差1,313m。前橋市街地から県道4号線を赤城山まで駆け上がる日本最大級のヒルクライムレースが、昨年に続き行われました。参加者は3部門12種目で2625人にも及び、当院の井野正剛医師や原田亮PTそして昨年研修においてになっていた池上章太医師が大変好成績を収めました。ここ榛名でも、来年は大きなイベントが4つあります。3月の梅マラソン、5月の榛名山ヒルクライム in 高崎、7月のトライアスロン、そして最後は11月のフルマラソン。参加は勿論、榛名荘でも多くの財団職員がお手伝いを希望しております。良い大会になるよう皆で盛り上げましょう。



原田PTは一般男子Cクラス第1位



左が写真提供者の井野先生、スタート前にゼッケンNo1の池上先生と2ショット

医食同源

秋に収穫されたさつまいもは、甘みが増し、今が美味しい時期となりました。食物繊維たっぷりのレシピを紹介します。

🌸 スイートポテトサラダ 🌸



材料4人分

さつまいも	240g
干しぶどう	20g
玉ねぎ	40g
マヨネーズ	40g
塩	2.5g
こしょう	少々



レシピ紹介♪

作り方

- ① さつまいもの皮をむき、1cm角のサイコロ切りにし、水にさらしアクを抜く。
- ② 玉ねぎは薄くスライスし、水にさらした後水気を切っておく。
- ③ 干しぶどうは湯通しし、水気を切っておく。
- ④ ①を蒸し、粗熱がとれたら、②③と調味料を混ぜる。(いもを崩さないように混ぜる)
- ⑤ 器にサラダ菜をひき、④を盛り付け完成!!

エネルギー170kcal 植物繊維1.8g (1人分)

栄養メモ

食物繊維は不溶性食物繊維と水溶性食物繊維の2種類があります。不溶性は穀類、野菜、豆類に多く含まれ、水分を吸収してふくらみ、便量を増やし、腸管を刺激し腸の蠕動運動を促します。水溶性は、果物、海藻類に多く含まれ、水に溶解ゲル化状態になるため、消化吸收をゆっくりにし、食後血糖値の急上昇を防ぎます。また、コレステロール、ナトリウムを吸着し、排出作用があります。結果として、便秘改善だけでなく、生活習慣病予防などの健康効果が期待できます。さつまいもには、細く長い筋のような不溶性食物繊維を多く含みますが、水溶性食物繊維も含まれます。食物繊維の1日の目標量は15～20gです。

*胃腸に病気を持っている方や消化不良を起こしやすい方は食物繊維の摂りすぎに注意してください。

Topics



感染対策委員会「教育講演」の開催 11月16日(金)
感染対策副委員長 石田 素彦

今回、感染対策委員会主催による全職種を対象とした「標準予防策」についての教育講演を開催しました。感染対策は一部の職員が理解しているだけでは対策になりません。職種横断的に感染対策に関する共通認識を一人でも多くの職員が持つことで感染拡大防止につなげることができます。またその意識を継続的に持ち続けられるように働きかけていくことが必要であり感染対策実行委員会の役割でもあります。約70名の参加を得ました。(毎月、院内感染対策委員会及び院内感染実行委員会また、週一回程度のICTによる病棟ラウンドを実施)



講演する田内医師（感染対策委員長）



合同慰霊祭が行われる 11月22日(木)

榛名荘病院・はるな脳外・あけぼの苑・あけぼの苑高崎・総合ケアセンター榛名荘にて、平成23年10月21日から平成24年10月20日の間にお亡くなりになられた方々を偲び合同慰霊祭が執り行われました。榛名聖公会の秋葉晴彦司祭が逝去者のお名前を奉読し、黙とうを捧げた後、濱名敏白理事長が挨拶を述べました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



りんどうの会（糖尿病友の会）が 11月25日(日)
りんご狩りに行きました。 外来師長 柴山 永江

糖尿病外来では、外食による食事指導と情報交換の一つとして、友の会の皆さまと、日帰りバス旅行に出かけました。気持ちの良い秋晴れのもと、今回は長野県の小布施でりんご狩りをしました。赤や黄の色鮮やかなりんごに舌鼓を打ち、勿論お土産も忘れず買い込み、さらに仲見世通りではご当地名物の買い物をしました。看護師も複数参加し、バイタルチェックや状態観察は欠かしません。入会は常時受け付けております。外来看護師にお気軽にお声掛け下さい。



医療連携室が新体制になりました

New Face

みに ころう
三國 吾郎
 (社会福祉士)



メンバーのご紹介

(室長・医師)	若林 孝幸
(室長補佐・看護師)	岡田与志子
(ソーシャルワーカー)	細川 俊介
(ソーシャルワーカー)	三國 吾郎
(ソーシャルワーカー)	多胡久美子
(事務)	宮田恵理子

医療連携室直通 電話 027-374-2895
 FAX 027-374-2896

長崎大学、大阪芸術大学、そして、東京福祉大学社会福祉学部を卒業して、後に社会福祉士を取得いたしました。高崎市在宅介護支援センター、社会福祉協議会などでソーシャルワーカーやグループホームでの仕事をまいりました。縁あって、8月1日付で榛名荘病院に入職させていただき、医療連携室に配属となり、ソーシャルワーカーとして勤務することとなりました。医療・福祉ともに多くの難題をかかえる時代となりましたが、今までの経験を生かして、微力ではありますが貢献させていただきたいと思っています。今後とも、末永くよろしくお願いいたします。

医療連携室ではソーシャルワーカーが、医療機関・福祉機関との連携をはかりながら、患者様の受診・入退院がスムーズにいくようお手伝いをさせていただいております。また、入院・通院される皆さまやご家族のご相談もお受けしています。お気軽にお電話下さい。お待ちしております。

室長 若林 孝幸

榛名荘病院

〒370-3347 高崎市中室田町5989 TEL 027-374-1135 FAX 027-374-1139

外来診療担当表		月	火	水	木	金	土
内 科	午前		和久井	若林	河石	高安	黒岩
外 科	午前	高橋(第1・3週)	中曽根		大嶋		
		茂原(第2・4週)					
	午後	高橋(第1・3週)		清水 (呼吸器)	大嶋		
		茂原(第2・4週)					
心臓血管 外 科	午前	町田		町田			
	午後			町田			
神経内科	午前					橋本	
	午後					橋本	
呼吸器 内 科	午後				相原		
糖尿 外 来	午前						伴野
循環 内 科	午前						中村
精神科	午後		井田 (第1・3週)				
皮膚科	午後			群大			
眼 科	午後			得居 (第1・3週)		高橋 (第2・4週)	
歯 科	午前		高山 (4週のみ午後)	宮崎		須佐	武者
	午後		根岸 (4週のみ午前)	横尾			



【標 榜 科 目】

内科 呼吸器内科 胃腸科 循環器内科 外科
心臓血管外科 整形外科 放射線科 麻酔科
神経内科 精神科 リハビリテーション科
皮膚科 眼科 歯科

【外来受付時間】

午前8時30分～午前11時30分
午後1時30分～午後5時
(休診は土曜日午後・日曜日・祝祭日・年末年始)

【病 床 数】 231床

➢ 一般病棟 112床
(回復期リハビリテーション病棟32床を含む)
➢ 療養病棟 119床
(回復期リハビリテーション病棟59床を含む)

はるな脳外科

〒370-0871 高崎市中室田町827-1 TEL 027-343-2220 FAX 027-343-1197

外来診療担当表		月	火	水	木	金	土
脳神経 外 科	午前	初 診	野尻	倉地	野尻	倉地	野尻(第1・3・5週)
		再 診	倉地	野尻	倉地	野尻	倉地(第2・4週)
	午後	初・再	野尻	野尻	倉地		野尻(第1・3・5週)
							倉地(第2・4週)



【診 療 科 目】 脳神経外科、リハビリテーション科

【外来受付時間】 午前8時30分～11時30分 月、火、木、土曜の午後2時～午後4時 (休診は日曜日・祝祭日・年末年始)

【病 床 数】 19床

群馬脊椎脊髄病センター

〒370-0871 高崎市中室田町828-1 TEL 027-343-8000 FAX 027-343-6622

外来診療担当表		月	火	水	木	金	土		
脊椎脊髄 疾 患	午前	清水 真鍋	登田 田内	井野 登田 田内	笛木 井野	笛木 真鍋	側彎症外来		一般外来
							(再 診)	(初 診)	
							(第1)	真鍋	
							(第2)	清水	
							(第3)	井野	
	午後			清水			(第4)	清水	松原
							(第5)	真鍋	
							(第5)	不定期	



【診 療 科 目】 整形外科(脊椎脊髄病疾患)、リハビリテーション科

【予約診療時間】 午前8時30分～午前11時30分 水曜の午後2時～4時30分

(休診は土曜日の午後・日曜日・祝祭日・年末年始) ★ 入院、手術は 病棟部門の榛名荘病院で行います。

※完全予約制 電話予約受付時間 15時～18時

交通案内



診療内容や患者さまのご紹介に関すること等
お気軽にお問い合わせ下さい

榛名荘病院 医療連携室

〒370-3347 群馬県高崎市中室田町5989

TEL 027-374-2895 (直通)

FAX 027-374-2896 (直通)

E-mail renkei@harunaso.or.jp

《編集後記》光陰矢のごとし…今年も瞬間に師走を迎えてしまいました。この度退職された小林先生のお話にもございましたが、昔はもっと時間がゆったり流れていたように思います。確かに私達を取り巻く環境は大きく変わりましたが、無くしてはならない良き風習もあります。多忙な日々の中でもそれらを楽しみつづ、年を重ねられる心の余裕を持ちたいですね。 ㊦